

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日

上場会社名 株式会社丸八ホールディングス 上場取引所 名  
 コード番号 3504 URL <https://www.maruhachi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日野原 和夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループ長 (氏名) 工藤 知足 (TEL) 045-471-0808  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	9,434	△1.6	1,388	△10.9	3,155	33.9	2,683	72.5
2022年3月期第3四半期	9,585	△5.6	1,557	3.4	2,357	77.6	1,555	89.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,975百万円(72.1%) 2022年3月期第3四半期 1,729百万円(145.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	173.19	—
2022年3月期第3四半期	100.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	64,703	49,905	77.1
2022年3月期	61,409	47,394	77.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 49,905百万円 2022年3月期 47,394百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,892	△3.5	1,472	△12.8	3,160	5.6	2,639	67.5	170.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	16,579,060株	2022年3月期	16,579,060株
2023年3月期3Q	1,081,540株	2022年3月期	1,081,540株
2023年3月期3Q	15,497,520株	2022年3月期3Q	15,497,520株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内閣府の月例経済報告によりますと、「景気は、緩やかに持ち直している。」とされており、先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されます。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染動向に十分注意する必要があります。

#### (寝具・リビング用品事業)

当第3四半期連結累計期間の状況といたしましては、前年同四半期と比べ減収・減益となりました。

減収・減益の主な要因は、主力のダイレクトセールス部門におきまして、販売員増員を課題として認識しておりますが、継続的な採用活動に努めるも奏功せず前年同四半期と比べ減員となったためであります。ダイレクトセールス以外の販売部門におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による需要の落ち込みから回復の兆しが見られ、前年同四半期と比べ増収・増益で推移しております。

#### (不動産賃貸事業)

当第3四半期連結累計期間の状況といたしましては、前年同四半期と比べ増収・減益となりました。

増収の主な要因は、前年下半期に取得した区分マンションの賃貸収入によるものであります。減益の主な要因は、修繕等の設備関係費が前年同四半期を上回ったことによるものであります。

以上の結果、売上高は9,434,469千円と前年同四半期と比べ150,575千円(1.6%)の減収となりました。営業利益は1,388,536千円と前年同四半期と比べ169,070千円(10.9%)の減益となりました。経常利益は為替差益を1,132,738千円計上したこと等により、前年同四半期と比べ798,594千円(33.9%)増益の3,155,909千円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、旧浜松工場等に係る解体費用引当金繰入額の計上等がありましたが、投資有価証券償還益を1,190,253千円計上したことや、上記の経常利益の増加により2,683,976千円となり、前年同四半期と比べ1,128,001千円(72.5%)の増益となりました。

セグメント毎の状況は以下のとおりであります。

#### ① 寝具・リビング用品事業

当セグメントにおきましては、売上高は8,662,600千円と前年同四半期と比べ165,382千円(1.9%)の減収、セグメント利益(営業利益)は1,440,233千円と前年同四半期と比べ143,346千円(9.1%)の減益となりました。

#### ② 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は771,869千円と前年同四半期と比べ14,806千円(2.0%)の増収、セグメント利益(営業利益)は354,589千円と前年同四半期と比べ24,286千円(6.4%)の減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して3,293,667千円増加し、64,703,041千円となりました。これは主に、金融機関からの借入額が500,000千円増加したことや、親会社株主に帰属する四半期純利益を2,683,976千円計上したこと等によるものであります。なお、現金及び預金が2,778,940千円減少しているのは、資産運用の一環で、満期となった外貨建て定期預金をその他の外貨建て金融資産へ組替えたこと等によるものであり、その結果、投資有価証券が4,843,044千円増加しております。

負債は、前連結会計年度末と比較して782,851千円増加し、14,797,825千円となりました。これは主に、金融機関からの借入額が500,000千円増加したことや、解体費用引当金が324,193千円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して2,510,816千円増加し、49,905,216千円となりました。これは主に、海外子会社財務諸表の円換算レートの変動により為替換算調整勘定が757,082千円増加したことや、配当金の支払いを上回る親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が2,219,050千円増加したことによるものであります。一方で、投資有価証券の償還等によりその他有価証券評価差額金が464,866千円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年11月10日付で公表いたしました「第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりであります。なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,922,872	30,143,932
受取手形、売掛金及び契約資産	4,073,108	4,157,481
有価証券	—	425,635
棚卸資産	1,173,206	1,640,213
その他	366,371	472,740
貸倒引当金	△75,707	△88,646
流動資産合計	38,459,851	36,751,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,574,103	19,483,166
減価償却累計額	△14,830,709	△14,941,300
建物及び構築物(純額)	4,743,393	4,541,866
機械装置及び運搬具	2,668,104	2,640,764
減価償却累計額	△2,445,215	△2,464,932
機械装置及び運搬具(純額)	222,889	175,831
工具、器具及び備品	613,786	601,483
減価償却累計額	△479,639	△465,517
工具、器具及び備品(純額)	134,146	135,965
土地	12,479,049	12,526,318
建設仮勘定	263,845	684,845
有形固定資産合計	17,843,324	18,064,827
無形固定資産	17,553	14,880
投資その他の資産		
投資有価証券	4,614,337	9,457,381
繰延税金資産	259,806	261,841
その他	258,732	194,118
貸倒引当金	△44,231	△41,364
投資その他の資産合計	5,088,645	9,871,977
固定資産合計	22,949,522	27,951,685
資産合計	61,409,373	64,703,041

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	264,536	561,625
1年内返済予定の長期借入金	5,000,000	2,500,000
未払金	565,901	564,738
未払法人税等	577,612	793,566
賞与引当金	166,158	81,710
解体費用引当金	—	324,193
修繕引当金	—	117,700
割賦利益繰延	703,409	549,996
その他	812,780	592,683
流動負債合計	8,090,400	6,086,214
固定負債		
長期借入金	4,000,000	7,000,000
役員退職慰労引当金	17,682	17,682
退職給付に係る負債	361,550	365,183
長期預り保証金	1,099,486	1,107,683
繰延税金負債	279,210	54,417
その他	166,644	166,644
固定負債合計	5,924,574	8,711,611
負債合計	14,014,974	14,797,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,427,998	1,427,998
利益剰余金	48,496,664	50,715,714
自己株式	△2,216,142	△2,216,142
株主資本合計	47,808,520	50,027,571
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	411,262	△53,604
繰延ヘッジ損益	△197	△648
為替換算調整勘定	△825,185	△68,102
その他の包括利益累計額合計	△414,121	△122,355
非支配株主持分	0	0
純資産合計	47,394,399	49,905,216
負債純資産合計	61,409,373	64,703,041

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	9,585,045	9,434,469
売上原価	2,918,299	2,880,889
売上総利益	6,666,746	6,553,580
販売費及び一般管理費	5,109,138	5,165,043
営業利益	1,557,607	1,388,536
営業外収益		
受取利息	61,455	223,734
受取配当金	94,441	328,796
受取手数料	51,986	44,722
為替差益	538,246	1,132,738
その他	64,029	50,127
営業外収益合計	810,160	1,780,119
営業外費用		
支払利息	10,127	11,683
その他	324	1,063
営業外費用合計	10,452	12,747
経常利益	2,357,315	3,155,909
特別利益		
収用補償金	78,575	—
有形固定資産売却益	521	81
投資有価証券売却益	—	18,873
ゴルフ会員権売却益	3,709	—
投資有価証券償還益	—	1,190,253
特別利益合計	82,806	1,209,208
特別損失		
解体費用引当金繰入額	—	324,193
減損損失	3,421	—
有形固定資産売却損	4,545	188
有形固定資産除却損	16,733	4,795
特別損失合計	24,700	329,177
税金等調整前四半期純利益	2,415,420	4,035,940
法人税等	859,446	1,351,965
四半期純利益	1,555,974	2,683,975
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,555,974	2,683,976

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,555,974	2,683,975
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	92,357	△464,866
繰延ヘッジ損益	△6,723	△450
為替換算調整勘定	87,709	757,083
その他の包括利益合計	173,343	291,767
四半期包括利益	1,729,317	2,975,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,729,317	2,975,742
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	寝具・リビング 用品事業	不動産賃貸事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	8,545,827	6,980	8,552,807	—	8,552,807
その他の収益(注) 3	282,155	750,082	1,032,238	—	1,032,238
外部顧客への売上高	8,827,982	757,062	9,585,045	—	9,585,045
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	172,933	172,933	△172,933	—
計	8,827,982	929,995	9,757,978	△172,933	9,585,045
セグメント利益	1,583,580	378,876	1,962,456	△404,848	1,557,607

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△172,933千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△404,848千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. その他の収益には、顧客との契約から生じる収益のうち、収益認識会計基準等の適用範囲外とされている、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」の範囲に含まれる金融商品に係る取引、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれるリース取引等が含まれております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	寝具・リビング 用品事業	不動産賃貸事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	8,436,279	6,580	8,442,860	—	8,442,860
その他の収益(注) 3	226,320	765,288	991,609	—	991,609
外部顧客への売上高	8,662,600	771,869	9,434,469	—	9,434,469
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	188,560	188,560	△188,560	—
計	8,662,600	960,429	9,623,030	△188,560	9,434,469
セグメント利益	1,440,233	354,589	1,794,822	△406,286	1,388,536

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△188,560千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△406,286千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. その他の収益には、顧客との契約から生じる収益のうち、収益認識会計基準等の適用範囲外とされている、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」の範囲に含まれる金融商品に係る取引、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれるリース取引等が含まれております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。